



収量性と品質に優れるそば新品种

キタミツキ



そば品種「キタミツキ」は、北海道の主力品種である「キタワセソバ」と比較して多収で、容積重は重く、ルチン含量は高い特徴を有します。「キタワセソバ」の後継品種として普及を進めています。

育成期間 平成16年 ▶ 平成26年

平成31年品種登録

品種の特徴

- 収量性が高い。
- 容積重が重い。
- ルチン含量が高い。



農研機構 北海道農業研究センター

収量性と品質に優れるそば新品种

キタミツキ

「キタミツキ」は、北海道向けの新しいそば品種です。品種名には、「北海道で輝きに満ちてほしい」という願いと「3か月程で収穫できる」という意味が込められています。現在、一部の地域で「キタミツキ」の栽培が始まっており、これからも北海道一円に普及することが期待されています。美味しい「キタミツキ」を多くの方に楽しんでもらえることを望んでいます。



品種の特徴

- 収量性は「キタワセソバ」よりも多収です。
- 容積重は従来品種よりも重く、等級検査に有利です。
- 機能性成分であるルチンの含量が高く、品質に優れています。
- 食味は「キタワセソバ」と同等の良食味で、製麺性はやや優れます。

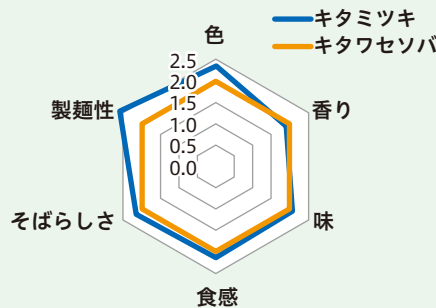
栽培上の注意

- 「キタワセソバ」並に脱粒しやすいため、適期収穫に努めてください。
- 原採種圃の設置に際しては、交雑を避けるために他品種との距離が十分に離れた圃場を選定してください。
- 滞水しやすい圃場では、排水対策に努めてください。

「キタミツキ」の草姿と子実



実需者による「キタミツキ」の食味・加工評価



評価サンプル：北海道農業研究センターの生産物。
2013年から2015年の平均値。
「キタワセソバ」を可（2点）として相対評価。
評価点は4：優、3：良、2：可、1：不可。

ソバの茹で麺



左：キタワセソバ、右：キタミツキ
ソバ粉：小麦粉=8：2

育成地における「キタミツキ」の栽培特性と品質

品種名	播種期 月日	成熟期 月日	草丈 cm	子実重 kg/10a	キタワセ比 %	容積重 g/L	ルチン含量 mg/100gDW
キタミツキ	6.04	8.19	103	171	121	603	24.1
キタワセソバ	6.04	8.18	102	142	100	591	20.0
レラノカオリ	6.04	8.17	95	158	111	576	14.8

2012年から2018年までの平均。容積重は磨きかける前の値。

それぞれ 中央：キタミツキ
左：キタワセソバ 右：レラノカオリ